

講演会・講習会

原則として日本化学会の会員は、主催者の会員と同等の条件(参加費用)で参加できます。

この欄への掲載については、日本化学会ホームページ www.chemistry.or.jp/journal/kakou-1/koen-boshu.html をご参照下さい。

なお、日程・内容などが変更になる場合もございますので、最新の情報は各主催者のHPなどでご確認ください。

日本化学会が主催・共催・協賛・後援し、
本誌に掲載された討論会に関する情報は、
下記本会ホームページからもご覧になることができます。
www.chemistry.or.jp/event/calendar/index.html

グリーンアンモニア
グリーン水素、アンモニアに
関する国際シンポジウム

—南アの再エネをアンモニアに変える—

主催 沼津高専グリーンアンモニア研究センター

協賛 日本化学会

会期 4月11日(金)13時～12日(土)13時30分

開催方式 オンライン・対面併催

会場 Plazaverde (沼津市) [交通] 都内より1時間 (東海道線「沼津」駅北口直結)

参加申込締切 4月8日(火)

アンモニアがCO₂フリー燃料と認められる一方、グリーンアンモニアの安価な供給が課題となっている。世界一安価な再エネ電力からの水素製造を目指す南アとグリーンアンモニア製造の共同研究開発を始めて3年の経過と成果を発表するとともに各界との意見交流を行う。世界の再エネ適地の気候、インフラ環境は様ではない。南アでのケーススタディはこの分野開拓の一例であるが(ご参加の上)ご批判いただきたい。

※詳細はHP (https://www.jst.go.jp/global/kadai/r0304_southafrica.html) をご参照下さい。

参加費 協賛団体会員無料

懇親会 ココチホテル 2F フレンチにて。会費：一般10,000円、学生2,000円

参加申込方法 Web

申込先・問合先 沼津高専 秋鹿研一 電話(090)4051-7366 FAX(042)796-6863 E-mail: kennaika@c01.itscom.net <https://sites.google.com/view/greenammonianumazu>

第64回顔料・色材基礎講座

主催 日本顔料技術協会

協賛 日本化学会

会期 4月17日(木)9時30分～18日(金)9時15分

開催方式 対面式

会場 大阪産業技術研究所 森之宮センター 3階大講堂 (大阪市城東区森之宮 1-6-50) [交通] JR大阪環状線「森ノ宮」駅下車阪神高速高架下東へ300m、北へ300m徒歩8分

参加申込締切 定員(90名)になり次第

顔料総論、顔料試験法、パール顔料、複合酸化物顔料、体質顔料、群青、酸化チタン、酸化鉄顔料、カーボンブラック、顔料分散剤、染料レーキ、油性顔料、有機赤色顔料、蛍光顔料、食用色素、有機黄色顔料、有機青色顔料、機能性色素、化粧品用顔料、プラスチック用着色剤、顔料の分散 各メーカーの講師による入門講座

参加費 会員、協賛会員22,000円、会員外27,000円

参加申込方法 E-mail

申込先・問合先 666-0015 川西市小花2-23-2 日本顔料技術協会 電話(072)759-8506 FAX(072)759-9008 E-mail: kotoku@fujipigment.co.jp <https://www.gankyo.jp>

25-1NMR 研究会

—低磁場 NMR の最前線—

主催 高分子学会 NMR 研究会

協賛 日本化学会

会期 5月9日(金)9時55分～16時50分

開催方式 対面式

会場 東京海洋大学栄水会館大会議室 (港区港南 4-5-7) [交通] JR線・京浜急行線「品川」駅港南口(東口)から徒歩約10分、東京モノレール「天王洲アイル」駅から「ふれあい橋」を渡り正門まで約15分、りんかい線「天王洲アイル」駅から「ふれあい橋」を渡り正門まで約20分

参加申込締切 5月2日(金)まで

1. 開会挨拶(担当運営委員)(帝人) 菅沼こと

2. 時間領域 NMR (TDNMR) による物性解析とその応用(ブルカー・ジャパン) 原 英之

3. パルス法 NMR による高分子材料の診断技術(岡山県工業技術) 岩路 仁

4. 小型・可搬型 NMR の開発とその未来 Small and Portable NMR: Its Development and Future (理研) 高橋雅人

5. 超電導バルク磁石が拓く NMR の未来(理研) 仲村高志

6. フロー研究が導く高速合成化学とオンライン分析の活用展開について(北大) 永木愛一郎

7. NMR データサイエンス開発とマルチモーダル機器への期待(理研) 菊池 淳

8. 閉会挨拶(運営委員長)(三菱ケミカル) 百瀬 陽

※本研究会要旨集は、pdf 配信となります。あらかじめご了承下さい。

参加費 企業(高分子学会・日本化学会員)3,300円 大学・官公庁(高分子学会・日本化学会員)2,200円 学生1,100円

参加申込方法 Web

申込先・問合先 104-0042 中央区入船 3-10-9 新富町ビル 6 階 公益社団法人高分子学会 電話(03)5540-3770 FAX(03)5540-3737 E-mail: resg2@spsj.or.jp <https://member.spsj.or.jp/event/>

第36回万有仙台シンポジウム

—有機合成化学の多様な可能性—

主催 万有仙台シンポジウム組織委員会

後援 日本化学会

会期 5月10日(土)11時～17時55分

開催方式 オンライン・対面併催

会場 東北大学百周年記念会館 川内萩ホール(仙台市青葉区川内 40) [交通] 仙台市営地下鉄東西線「国際センター」駅西1出口から徒歩約5分

参加申込締切 4月30日(水)

ポスターセッション

講演

1. 中分子の製薬研究を通して化学を追及する(中外製薬) 野木馨介

2. ラジカルが拓く新触媒・新反応・新機能(京大化研) 大宮寛久

3. 生命科学を切り拓くバイオイメージングプローブの創製(東京科学大化生研) 神谷真子

4. メカノケミカル反応：有機合成のイノベ

ーション(北大院工) 伊藤 肇

5. グアニジナルカロイドを起点とする合成化学(農工大院工) 長澤和夫

6. 革新的次世代核酸医薬の創製(東理大薬) 和田 猛

参加費 無料

懇親会 18時10分～19時30分、川内の杜ダイニングにて。会費無料

参加申込方法 Web

申込先・問合先 980-8577 仙台市青葉区片平 2-1-1 東北大学多元物質科学研究所 第36回万有仙台シンポジウム事務局 永次史、鬼塚和光 電話(022)217-5633 E-mail: banyu_sendai36@grp.tohoku.ac.jp <https://www.msd-life-science-foundation.or.jp/category/symp/sendai>

第12回慶應有機化学
若手シンポジウム

主催 慶應有機化学若手シンポジウム実行委員会

協賛 日本化学会

会期 5月10日(土)

開催方式 対面式

会場 慶應義塾大学矢上キャンパス(横浜市港北区日吉 3-14-1) [交通] 東急東横線、東急目黒線/横浜市営地下鉄グリーンライン「日吉」駅より徒歩15分

参加申込締切 5月1日(木)

1. 非平衡ダイナミクスを創発する多成分系超分子ゲルシステム(京大工) 窪田 亮

2. 有機合成のパラドックス：水中有機合成への誘い(東大理) 北之園 拓

3. ユニークな反応性を示すシクロペンタジエンが切り開く新たな有機合成(星薬科大) 池内和忠

4. 化学平衡を活用した蛍光プローブの創製と生体イメージングへの応用(慶大理工) 蛭田勇樹

5. 脱芳香族化で拓く多環縮環型天然物の合成研究(東農大生命科学) 小田木 陽

6. キラルと発光の有機化学：分子設計と機能の開拓(横国大工) 伊藤 傑

参加費 無料

懇親会 5月10日(土)。会費制

参加申込方法 Web

申込先・問合先 223-8522 横浜市港北区日吉 3-14-1 慶應義塾大学理工学部応用化学科 小椋章弘 電話(045)566-1546 E-mail: ogura@applc.keio.ac.jp <https://www.applc.keio.ac.jp/~y-miura/KOS/index.html>

日本膜学会講演会

ゼオライト膜開発の最新研究から
実用化、普及に向けて

主催 日本膜学会

協賛 日本化学会

会期 5月12日(月)13時～17時20分

開催方式 オンライン・対面併催

会場 早稲田大学リサーチイノベーションセンター(121号館) B1F コマツホール(新宿区早稲田鶴巻町 513) [交通] 東京メトロ東西線「早稲田」駅から徒歩5分

参加申込締切 5月10日(土)17時、5月10

日(土)17時以降は、対面会場でのみ参加受付可能。参加費はそれぞれ3,000円(税別)アップになります。

基調講演 1. ゼオライト膜の現状と展望(山口大名誉) 喜多英敏

1) アルコール選択透過型浸透気化膜の2値化解析技術構築およびパイロット実証(日東電工) 西山貞哉

2) MFI膜による二酸化炭素のオレフィン化反応(芝浦工大) 野村幹弘

3) ゼオライト膜を利用した膜型反応器のプロセスモデリング(産総研) LUNDIN SEAN-THOMAS

基調講演 2. カーボンニュートラルへ向けてのゼオライト膜の貢献可能性(三菱ケミカル) 武脇隆彦

4) 省エネ・脱炭素に資するゼオライト膜分離システム(カナデビア) 来田康司

5) 骨格中のAlおよびカチオン位置制御によるゼオライト膜の透過分離性能の向上(早大) 酒井 求

参加費 主催団体：個人会員および法人会員の社員11,000円、協賛団体の個人会員11,000円、学生：3,300円、会員外：22,000円

参加申込方法 Web

申込先・問合先 113-0033 文京区本郷5-26-5-702 日本膜学会事務局 電話/FAX (03)3815-2818 E-mail: membrane@mua.biglobe.ne.jp <https://www.maku-jp.org/international/kouenkai.html>

第42回無機・分析化学コロキウム

主催 日本化学会東北支部

会期 5月16日(金)、17日(土)

開催方式 対面式

会場 未来学舎 KIBOTCHA (東松島市野蒜字亀岡80) [交通] 仙石東北ライン「野蒜」駅下車徒歩5分

参加申込締切 定員(92名)になり次第

無機化学・錯体化学・無機固体物質化学・放射化学・分析化学分野の学術講演会。招待講演4件、依頼講演7件を予定。

参加費 一般20,000円、学生10,000円(予定)

参加申込方法 E-mail

申込先・問合先 東北大学大学院理学研究科化学専攻 西澤精一 電話(022)795-6549 FAX(022)795-6552 E-mail: seiichi.nishizawa.c8@tohoku.ac.jp <http://www.anal.chem.tohoku.ac.jp/index.html>

櫻井英樹先生追悼講演会

主催 櫻井英樹先生追悼講演会実行委員会

後援 日本化学会

会期 5月17日(土)15時～

開催方式 対面式

会場 仙台国際ホテル(仙台市青葉区中央4-6-1) [アクセス] <https://www.tobu-skh.co.jp> [交通] JR「仙台」駅より徒歩5分

参加申込締切 4月18日(金)

※最新情報はケイ素化学協会HP(<http://www.sscj.jp/gakkai.html>)のシンポジウム欄をご参照下さい。

参加費 5,000円

懇親会 講演会終了後、引き続き「櫻井英樹

先生を偲ぶ会」を開催します。会費12,000円

参加申込方法 Web

申込先・問合先 櫻井英樹先生追悼講演会実行委員会(世話人 坂本健吉) <https://forms.gle/2uGTYQ24uSwfR2Gk9>

第407回液体クロマトグラフィー研究懇談会

—PFAS分析におけるポイント—

主催 日本分析化学会・液体クロマトグラフィー(LC)研究懇談会

後援 日本化学会

会期 5月22日(木)13時～17時10分

開催方式 対面式

会場 栗田工業株式会社/Kurita Innovation Hub 講堂A(昭島市代官山1-4-1) [交通] JR「昭島」駅より徒歩7分

参加申込締切 5月15日(木)

現在、環境省は2026年4月の施行を目指す、PFOS・PFOAを水道水質基準に追加する方針を公表しています。一方、欧州などでは、多成分のPFAS規制に向けた動きが進んでおり、固相抽出、HPLC、LC/MSなどのPFAS分析技術への関心が高まっています。本例会では、これらの技術を活用した最新のPFAS分析や、各社の取り組み、分析のポイントについてご講演いただきます。

講演

1. 講演主題概説(オーガナイザー)(栗田工業) 榎本幹司

2. PFAS分析のための試料前処理とブランク対策(ジエールサイエンス) 坂井拓斗

3. PFASの前処理(日本ウォーターズ) 磯保亮

4. 新規注入法を用いた食品及び河川水PFAS一斉分析法の紹介(アジレント・テクノロジー) 滝埜昌彦

5. PFAS分析ソリューションの紹介(島津製作所) 青野佑亮

6. PFAS分析における分析用水の最適化(メルク) 石井直恵

7. 飲料水・食品中PFAS分析の課題を突破する実践的アプローチ(日本食品検査) 橋田規

8. PFAS対策に求められる分析技術(栗田工業) 榎本幹司

9. 総括：PFAS分析におけるポイント(東理大) 中村 洋

参加費 学生1,000円、後援学会・個人会員4,000円、後援学会・団体会員4,500円、その他5,000円

懇親会 講演終了後。会費5,000円

参加申込方法 Web

申込先・問合先 (公社)日本分析化学会・液体クロマトグラフィー(LC)研究懇談会 電話(03)3490-3351 E-mail: k.enomoto15@kurita-water.com <https://www.lckon.org/lckon/reikai/lckon0407.html>

2025年度「ぶんせき講習会」(基礎編その1)

—分析における統計手法～統計の基礎と統計手法の実践について—

主催 日本分析化学会近畿支部 近畿分析技術研究懇話会

共催 日本化学会近畿支部

会期 5月23日(金)9時30分～16時50分

開催方式 対面式

会場 大阪公立大学I-site なんば(大阪市浪速区敷津東2-1-41) [交通] 南海本線「なんば」駅下車中央出口より南へ約800m徒歩約12分、大阪メトロ御堂筋線・四つ橋線「大國町」駅下車1番出口より東へ約450m徒歩約7分

参加申込締切 5月2日(金)ただし定員(80名)になり次第

近年の分析機器は高性能化が進み、その操作は簡便化しています。このため初心者でも測定が容易となった反面、分析機器がブラックボックス化し、コンピュータ処理された数値として測定データが出力されることが多いため、その値が意味あるものかを吟味することや有効数字を考慮することが少なくなったように見受けられます。そこで本講習会では、主に分析初心者および統計に関して再度学習したい方を対象に、分析化学の基礎である「有効数字、測定データの統計処理」の講義と演習を企画しました。これにより統計に関する基礎を習得できます。

参加費 主催・協賛団体所属会員6,000円、学生2,500円、会員外10,000円

参加申込方法 Web

申込先 550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 公益社団法人日本分析化学会近畿支部 電話(06)6441-5531 FAX(06)6443-6685 E-mail: mail@bunkin.org https://www.bunkin.org/2025/0523_bunseki_kousyu1.html

問合先 606-8522 京都市左京区下鴨半木町1-5 京都府立大学 久保拓也 E-mail: tkubo@kpu.ac.jp <https://kubo-lab-fmac.com/>

溶液 NMR, よりよいスペクトルを得るために

—千葉大学(CIRIC, CAI), JEOL 分析機器講習会—

主催 千葉大学(ヨウ素資源イノベーションセンター、共用機器センター) 日本電子

後援 日本化学会

会期 5月26日(月)13時～17時

開催方式 対面式

会場 千葉大学西千葉キャンパス千葉ヨウ素資源イノベーションセンター(CIRIC)1階講義室/NMR室(千葉市稲毛区弥生町1-33) [交通] JR総武線「西千葉」駅徒歩7分

参加申込締切 定員(40名)になり次第

溶液NMRの基礎とNMRスペクトルの解釈についての概略を学ぶとともに、NMR測定で良いデータを得るための基礎知識を習得することを目指します。溶液NMRの初心者を対象に、サンプル調整のコツや測定する上で必要なパラメータの意味について説明します。通常は自動測定モードを使用していると思いますが、自動測定時分光計はどのような動作を行っているのかについても解説します。これにより自動測定だけでなく、目的にあったスペクトルを測定するヒントをご提供します。

講師 朝倉克夫(日本電子)

1. 溶液NMRの基礎と測定法、質疑応答

2. NMR実機の実演

参加費 無料

参加申込方法 Web

申込先・問合先 263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33 千葉大学千葉ヨウ素資源イノベーションセンター事務局 電話(043) 290-2883 E-mail: ciric-network@chiba-u.jp <https://ciric.chiba-u.jp>

固体 NMR の基礎と測定技術

—千葉大学 (CIRIC, CAI),
JEOL 分析機器講習会—

主 催 千葉大学 (ヨウ素資源イノベーションセンター, 共用機器センター) 日本電子
後 援 日本化学会
会 期 5 月 27 日 (火) 13 時~17 時
開催方式 対面式
会 場 千葉大学西千葉キャンパス千葉ヨウ素資源イノベーションセンター (CIRIC) 1 階講義室/NMR 室 (千葉市稲毛区弥生町 1-33) [交通] JR 総武線「西千葉」駅徒歩 7 分
参加申込締切 定員 (40 名) になり次第

固体試料の NMR 測定では、溶液 NMR とは異なる試料管、プローブを用いるのが一般的です。本講習では、固体 NMR 初心者、あるいは溶液 NMR は測定したことがあるけれど固体 NMR は未経験という方を対象に、固体 NMR と溶液 NMR の違いおよびそれに起因する固体 NMR 特有の技術について、固体有機化合物の測定で最も多く使用されている CPMAS 測定法を例に挙げて解説します。

講 師 芦田 淳 (日本電子)

1. 固体 NMR 講演・質疑応答

2. 固体 NMR 実習

参加費 無料

参加申込方法 Web

申込先・問合先 263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33 千葉大学千葉ヨウ素資源イノベーションセンター事務局 電話(043) 290-2883 E-mail: ciric-network@chiba-u.jp <https://ciric.chiba-u.jp>

質量分析基礎講座

—千葉大学 (CIRIC, CAI),
JEOL 分析機器講習会—

主 催 千葉大学 (ヨウ素資源イノベーションセンター, 共用機器センター) 日本電子
後 援 日本化学会
会 期 5 月 28 日 (水) 13 時~16 時
開催方式 対面式
会 場 千葉大学西千葉キャンパス千葉ヨウ素資源イノベーションセンター (CIRIC) 1 階講義室 (千葉市稲毛区弥生町 1-33) [交通] JR 総武線「西千葉」駅徒歩 7 分
参加申込締切 定員 (40 名) になり次第

質量分析法 (MS) は、様々なイオン化法・質量分離法の組み合わせで多様なアプリケーションに対応しています (定量分析, 材料分析, 生体分析等)。本講習ではこれから質量分析を使い始める方や使い始めて間もない方を対象に、その概要を説明し、MS の基礎知識を取得することを目指します。

講 師 佐藤貢弥 (日本電子)

1. 基礎講座座席

2. 質疑応答

参加費 無料

参加申込方法 Web

申込先・問合先 263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33 千葉大学千葉ヨウ素資源イノベ

ーションセンター事務局 電話(043) 290-2883 E-mail: ciric-network@chiba-u.jp <https://ciric.chiba-u.jp>

EPMA 基礎と応用講座

—千葉大学 (CIRIC, CAI),
JEOL 分析機器講習会—

主 催 千葉大学 (ヨウ素資源イノベーションセンター, 共用機器センター), 日本電子
後 援 日本化学会
会 期 5 月 29 日 (木) 13 時~15 時 30 分
開催方式 対面式
会 場 千葉大学西千葉キャンパス千葉ヨウ素資源イノベーションセンター (CIRIC) 1 階講義室 (千葉市稲毛区弥生町 1-33) [交通] JR 総武線「西千葉」駅徒歩 7 分
参加申込締切 定員 (40 名) になり次第

EPMA の基礎編として「電子顕微鏡による組織観察・分析の基礎と応用」を、EPMA の応用編として主に軟 X 線での解析例 (Li 電池, Li など軽元素含有合金, ポリマー分析, 軽元素の定量性, 角度分解軟 X 線分光等) を紹介します。

講 師 高橋秀之 (日本電子)

1. EPMA 基礎講座座席

2. EPMA 応用講座座席

3. 質疑応答

参加費 無料

参加申込方法 Web

申込先・問合先 263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33 千葉大学千葉ヨウ素資源イノベーションセンター事務局 電話(043) 290-2883 E-mail: ciric-network@chiba-u.jp <https://ciric.chiba-u.jp>

潜在空間分子設計 第 3 回公開シンポジウム

主 催 文部科学省科学研究費助成事業学術変革領域研究 (A) 天然物が織り成す化合物潜在空間が拓く生物活性分子デザイン (潜在空間分子設計)

後 援 日本化学会

会 期 5 月 29 日 (木) 13 時~30 日 (金) 13 時

開催方式 対面式

会 場 慶應義塾日吉キャンパス協会会館 藤原洋記念ホール (横浜市港北区日吉 4-1-1) [交通] 東急東横線・東急目黒線・横浜市営地下鉄グリーンライン「日吉」駅徒歩 1 分

参加費 無料

参加申込方法 E-mail

申込先・問合先 565-0871 吹田市山田丘 2-1U1 E 棟 6 階 大阪大学大学院工学研究科 菊地研究室 藤本真琴 電話(06) 6879-7925 FAX(06) 6879-7875 E-mail: m.fujimoto@chem.eng.osaka-u.ac.jp <https://www.molpro-mls.eng.osaka-u.ac.jp/>

プラズマ分光分析研究会 第 125 回講演会

—次世代の分析に向けた
新しい分光分析の展開—

主 催 プラズマ分光分析研究会

協 賛 日本化学会

会 期 5 月 30 日 (金) 10 時~16 時 50 分

開催方式 オンライン・対面併催

会 場 松山市総合コミュニティセンター大会議室およびオンライン (松山市湊町 7-5) [アクセス] https://www.cul-spo.or.jp/corncen/fac_bunka_list#cont05

参加申込締切 5 月 20 日 (火)

テクノロジーや社会の発展に伴い、化学分析技術に対する高度化、高精度化への要求がこれまで以上に強くなっている。一方で化学分析技術自体も発展するテクノロジーの恩恵を受け、ビッグデータ解析や過渡信号の高速取得など、従来の分析技術を拡張、発展した新たな地平が広がりとつある。本講演会では ICP-TOFMS や放射光分析をはじめ近年の技術の進歩の恩恵を受けた分析技術の最近の動向を講演いただく。

1. I セルソーターと ICP-TOF-MS を用いた高選択性単一細胞中元素分析装置の開発 (東京科学大) 八井田朱音

2. TOFMS を用いた LA-ICP-MS (東京都立産業技術研究セ) 小林真大

3. 2025 年度技術賞受賞講演

4. 四国山地の環境化学 (徳島大) 今井昭二

5. いよいよ運用を開始した 3GeV 高輝度放射光施設 NanoTerasu (量子科学技術研究開発機構 NanoTerasu セ) 堀場弘司

6. 愛媛大学紙産業イノベーションセンターでの紙製品開発と分析化学の関わり (愛媛大) 藪谷智規

参加費 会員 1,000 円, 非会員 3,000 円, 学生会員 1,000 円, 学生非会員 2,000 円, 要旨集のみの購入: 1 冊 1,000 円

参加申込方法 Web

申込先・問合先 192-0392 八王子市堀之内 1432-1 東京薬科大学生命科学部分子生命科学科生命分析化学研究室内 プラズマ分光分析研究会 事務局 電話(042) 816-3001 FAX(045) 924-5688 E-mail: ozeki@plasma.es.titech.ac.jp <https://plasma250530.peatix.com>

第 59 回高分子の基礎と応用講座

—わかりやすい高分子入門—

主 催 高分子学会関西支部

協 賛 日本化学会近畿支部

会 期 6 月 4 日 (水) 9 時 10 分~5 日 (木) 17 時 30 分

開催方式 オンライン

参加申込締切 定員 (150 名) になり次第

講 演 第 1 日目 6 月 4 日 (水)

1. 高分子とはなにか: 高分子の未来を考える (阪大院工) 松本章一

2. 高分子合成と反応 (1) 一高分子合成 (重合) の基礎と重合法各論 (京大院工) 寺島崇矢

3. 高分子合成と反応 (2) 一制御重合, 高分子の精密合成と構造制御, 高分子反応 (京大院工) 寺島崇矢

4. 高分子稀薄溶液物性 一平均分子量と高分子鎖の平均的広がり の関係からわかること (京大院工) 井田大地

5. 高分子のレオロジー (阪大院理) 浦川 理

講 演 第 2 日目 6 月 5 日 (木)

1. 高分子の固体構造 (滋賀県大工) 竹下宏樹

2. 高分子の分析 (徳島大理工) 平野朋広

3. 表面・界面・接着 (関西大化学生命工) 宮

田隆志

4. プラスチック—特性と成形加工（阪技術研）山田浩二

5. 高分子バイオマテリアルと再生医療（小松大保健医療）山岡哲二

参加費 会員 25,000 円，日本化学会会員 25,000 円，協賛団体 25,000 円，官学 8,000 円，学生 3,000 円，非会員 40,000 円**参加申込方法** Web**申込先** 高分子学会関西支部 https://spsj.or.jp/branch/kansai/event/event_124.php**問合せ先** 604-0857 京都府京都市中京区烏丸通二条上ル蔭経屋町 267 烏丸二条ビル 3 階 高分子学会関西支部 電話 (080) 6769-7933 E-mail: kansai@spsj.or.jp <https://spsj.or.jp/branch/kansai/>

SRM2025 第 34 回金属の関与する 生体関連反応シンポジウム

主 催 日本薬学会物理系薬学部会**後 援** 日本化学会 日本微量元素学会**会 期** 6 月 7 日 (土) 9 時 30 分～8 日 (日) 12 時 30 分**開催方式** 対面式**会 場** 鈴鹿医療科学大学 白子キャンパス 6 号館（鈴鹿市南玉垣町 3500-3）〔交通〕近鉄「白子」駅（西口）より徒歩約 30 分，バス＋徒歩約 15 分，タクシー約 7 分**参加申込締切** 5 月 9 日 (金) (事前登録)

本シンポジウムは、生体微量金属元素に関する研究、すなわち、(i) 金属イオンの細胞内輸送、(ii) 金属元素および化合物の生理活性や体内動態、(iii) 金属酵素の反応機構とそのモデル、(iv) 金属元素および化合物の医療への応用、(v) 金属イオン・金属含有タンパク質による遺伝子発現の制御等を討論主題とし、最新の研究に基づく討論を通じて、今後の生物無機化学の研究の進展を探ることを目的としています。

参加費 事前登録：日本薬学会会員 6,000 円，日本化学会会員 6,000 円，日本微量元素学会会員 6,000 円，非会員 7,000 円，学生 3,000 円**懇親会** 6 月 7 日 (土) 18 時 30 分～，ホテルグリーンパーク鈴鹿にて。会費：日本薬学会会員 7,000 円，日本化学会会員 7,000 円，日本微量元素学会会員 7,000 円，非会員 8,000 円，学生 3,000 円**参加申込方法** Web**申込先・問合せ先** 513-8670 鈴鹿市南玉垣町 3500-3 鈴鹿医療科学大学 SRM2025 実行委員会 米田誠治 電話 (059) 340-0581 E-mail: srm2025@suzuka-u.ac.jp <https://srm2025.symposium-hp.jp/index.html>

第 51 回有機金属化学セミナー

—イチから学ぶ有機金属化学：最先端研究のための基礎知識—

主 催 近畿化学協会有機金属部会**協 賛** 日本化学会近畿支部**会 期** 6 月 11 日 (水) 9 時～17 時**開催方式** オンライン**参加申込締切** 5 月 15 日 (木)

1. 遷移金属錯体触媒反応を理解するための基礎知識（京大化研）大木靖弘

2. クロスカップリング反応（京工繊大）大村智通

3. 可視光レドックス触媒反応の基礎から応用（日本工大基幹工）小池隆司

4. C-H 官能基化（阪大院工）平野康次

5. 遷移金属触媒反応を活用する機能性有機材料の合成（兵庫県大院理）三宅由寛

付録講演 (2022 年のセミナーのアーカイブ配信)

6. オレフィンメタセシス反応（阪公大院理）神川 憲

参加費 協賛団体会員 20,000 円，大学官公庁所属会員 10,000 円，近畿化学協会有機金属部会法人会員 15,000 円，一般 35,000 円，学生 4,000 円 ※参加費のほかにシステム利用料 220 円が必要になります。**参加申込方法** Web**申込先・問合せ先** 550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4 大阪科学技術センター 6 階 近畿化学協会有機金属部会 電話 (06) 6441-5531 E-mail: om@kinka.or.jp https://kinka.or.jp/om/s_051.html

第 68 回日本セラミックス協会 東海支部東海若手セラミスト 懇話会 2025 年夏期セミナー

主 催 日本セラミックス協会東海支部東海若手セラミスト懇話会**協 賛** 日本化学会**会 期** 6 月 12 日 (木) 13 時～13 日 (金) 12 時**開催方式** 対面式**会 場** 三谷温泉ひがきホテル（蒲郡市三谷町南山 1-59）〔交通〕JR 東海道線「三河三谷」駅より無料送迎バス 5 分**参加申込締切** 4 月 25 日 (金)

東海若手セラミスト懇話会では、学生を含む若手セラミックス研究者、技術者の交流と情報交換を目的として、毎年 1 泊 2 日の夏期セミナーを行っております。

招待講演

1. 放射光 X 線 CT 観察に基づく焼結中の不均質由来の欠陥形成機構の解明（NIMS）大熊学

2. ダイヤモンド関連構造の酸化物半導体の開発（富山高専）喜多正雄

3. 光を蓄えるセラミックス（北陸先端大）上田純平

※その他、学位論文紹介、海外報告を予定しております。

テーブルディスカッション

セミナー受講者および一般・学生の研究発表と企業紹介をテーブルディスカッション形式で行います。内容は既発表でも可。セミナーでは、インフォーマルスタイルでのリラックスした雰囲気の中で活発な討論が行われております。

参加費 一般 22,000 円，学生 11,000 円**参加申込方法** Web**申込先・問合せ先** 第 68 回日本セラミックス協会 東海支部 東海若手セラミスト懇話会 2025 年夏期セミナー実行委員長 内藤拓真（三重県工業研究所） E-mail: naitot00@pref.mie.lg.jp <https://atyc.org/2025summer/>

第 41 回物性物理化学研究会

—医薬品と生体機能を可視化する
光技術とこれから—**主 催** 物性物理化学研究会**協 賛** 日本化学会**会 期** 6 月 20 日 (金) 10 時 20 分～17 時 10 分**開催方式** オンライン・対面併催**会 場** 京都大学国際科学イノベーション棟 シンポジウムホール（京都市左京区吉田本町）〔交通〕JR「京都」駅よりバス 30 分市バス近衛通徒歩 4 分**参加申込締切** 現地：定員（200 名）になり次第**参加費** 一般（主催・共催・協賛団体）5,000 円，一般（その他）6,000 円，学生 2,000 円
情報交換会 17 時 30 分～，京大生協カンファラにて。会費 8,000 円**参加申込方法** Web**申込先・問合せ先** 京都大学大学院薬学研究科 山下富義 電話/FAX (075) 753-9255 E-mail: maku22@pharm.kyoto-u.ac.jp <https://www.pharm.kyoto-u.ac.jp/bussei>

高校生による 環境安全とリスクに関する 自主研究活動支援事業

主 催 研究実験施設・環境安全教育研究会 (REHSE)**後 援** 日本化学会**会 期** 7 月 1 日 (火)～3 月 1 日 (日)**開催方式** 対面式**会 場** 研究活動は各高校，2026 年 3 月の成果発表会は東京大学（文京区本郷 7-3-1）〔交通〕地下鉄丸ノ内線「本郷三丁目」駅より徒歩 10 分，地下鉄千代田線「根津」駅より徒歩 10 分（詳細は東京大学 HP を参照）**参加申込締切** 6 月 14 日 (土)

高校生・高等専門学校の学生（3 年生まで）が、環境安全やリスクに関連のある研究テーマを決め、調査・研究を行い、報告書としてまとめる活動を支援するとともに、口頭発表および大学等の施設見学をする機会を提供します。具体的な支援として、研究活動費の支給、専門家による研究活動への助言、3 月に東京大学で開催される成果発表会（口頭発表）や研究施設見学会への招待などをいたします。詳しくは下記 REHSE HP の「高校生の自主研究活動支援」をご覧ください。

参加費 無料**参加申込方法** E-mail**申込先・問合せ先** 277-8563 柏市柏の葉 5-1-5 環境棟 468 号室 東京大学大島教授室内 NPO 法人 REHSE 高校生自主研究活動支援事業事務局 電話 (080) 4383-2007 E-mail: koukousei@rehse2007.com <https://rehse2007.com/>

第 57 回有機金属若手の会 夏の学校

主 催 有機金属若手の会**協 賛** 日本化学会**会 期** 7 月 2 日 (水)～4 日 (金)**開催方式** 対面式**会 場** 変なホテル ラグーナテンボス（蒲郡

市海陽町 1-4-1) [交通] JR「蒲郡」駅から無料シャトルバス運行

参加申込締切 定員になり次第

招待講演 友岡克彦 (九大), 中村正治 (京大), 西林仁昭 (東大) (敬称略)

依頼講演 大木靖弘 (京大), 島 隆則 (理研), 村橋哲郎 (東京科学大), 近藤美欧 (東京科学大), 山口潤一郎 (早大), 松永茂樹 (京大), 平野康次 (阪大) (敬称略)

若手講演 安川直樹 (名工大), 林 裕樹 (北大) (敬称略) および博士課程学生や若手研究者による口頭発表 (4 件程度)

ポスター発表 大学院学生によるポスター発表 (対面形式, 120 件程度, 先着順)

若手講演, ポスター発表を募集します。参加申込時にお知らせ下さい。詳細については下記 HP にてご確認ください。

参加費 学生 35,000 円, 一般 45,000 円 (食費, 宿泊費含む)

参加申込方法 Web 詳細については下記 HP にてご確認ください。下記 E-mail アドレスにお問い合わせ下さい。

申込先・問合先 464-8602 名古屋千種区不老町 名古屋大学大学院理学研究科 斎藤研究室・石原研究室 第 57 回有機金属若手の会夏の学校事務局 電話 (052) 789-5945 E-mail: om.wakate57@gmail.com <https://sites.google.com/view/omwakate57/>

第 70 回物性若手夏の学校

—非自明—

主 催 物性若手夏の学校準備局

後 援 日本化学会

会 期 7 月 29 日 (火)~8 月 2 日 (土)

開催方式 対面式

会 場 びわ湖畔 白浜荘 (高島市安曇川町下小川 2300-1) [交通] JR 湖西線「近江高島」駅から無料送迎バス

参加申込締切 6 月上旬 (予定)

物性物理学の若手研究者を対象とした研究会であり, 修士課程および博士課程の学生が中心となって運営・参加する。4 泊 5 日の会期中, 招待講師による講義・集中ゼミに加えて, 参加者による研究発表・議論が行われる。講義・集中ゼミはそれぞれ 2.5 時間×3 日間の 6 テーマ, 3 時間×1 日間の 12 テーマの形式で開講され, 参加者は前者から 1 テーマ, 後者から 2 テーマを選択して受講できる。物性物理学の幅広い分野を網羅しているため, 学生に限らず様々な層の研究者の参加を歓迎する。

参加費 45,000 円

参加申込方法 Web

申込先・問合先 物性若手夏の学校準備局 E-mail: info@cmpss.jp <https://cmpss.jp/>

HPLC & LC/MS 講習会 2025

主 催 日本分析化学会 LC 研究懇談会

後 援 日本化学会

会 期 7 月 30 日 (水)~8 月 1 日 (金)

開催方式 対面式

会 場 (株)島津製作所 殿町事業所 Main Hall (川崎市川崎区殿町 3-25-40) [交通] 京

急大師線「小島新田」駅徒歩 12 分

参加申込締切 7 月 14 日 (月)

HPLC, LC/MS の初心者・中級者を対象とし, 基礎から最新のトレンド迄を講義と実習で学びます。規定の講習を終えた方には, 受講証を差し上げます。また, 希望者には実力判定試験を受験する機会が付与され (無料), 合格者には 2025 年度 LC 分析士初段または LC/MS 分析士初段認定試験の筆記試験が免除される特典があります。

1 日目 講義と情報交換会

1. ガイダンス

2. 講義 1 概論

3. 講義 2 試薬・有機溶媒・水

4. 講義 3 前処理

5. 講義 4 分離

6. 講義 5 検出

7. 講義 6 LC/MS

8. 講義 7 トラブル解決法

9. 情報交換会

2 日目・3 日目 実習, 実力判定試験, 総合討論

4 班に分かれ, 以下の 4 種類の実習 (各 140 分) を 2 日間で受講します。

実習 A-1. 検出器の使い方: フォトダイオードアレイ検出器

実習 A-2. 検出器の使い方: 蛍光検出器

実習 B. カラム分離とデータ解析

実習 C-1. 固相抽出~原理と基礎操作

実習 C-2. 固相抽出~オンライン化, カラムスイッチング法

実習 D. LC/MS の使い方

2 日目

実力判定試験 (希望者のみ)

3 日目

総合討論

受講証授与

参加費 50,000 円 (後援学会・個人会員), 55,000 円 (後援学会・団体会員), 60,000 円 (その他)

参加申込方法 Web

申込先・問合先 141-0031 品川区西五反田 1-26-2 五反田ハイツ 304 号 日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会 電話 (03) 3490-3351 E-mail: nakamura@jsac.or.jp <https://www.lickon.org/event/seminar/koushukai2025.html>

第 22 回化学史研修講演会

主 催 化学史学会

後 援 日本化学会

会 期 8 月 23 日 (土) 13 時~16 時 30 分

開催方式 オンライン・対面併催

会 場 東京大学山上会館会議室 (文京区本郷 7-3-1) [交通] 地下鉄「本郷三丁目」駅・「湯島」駅・「根津」駅から徒歩 10 分, 「東大前」駅から徒歩 8 分, 都営地下鉄「本郷三丁目」駅から徒歩 8 分

参加申込締切 7 月 28 日 (月) (その後も受け付けますがお早めに)

講演 1. 化学の教科書に隠れたドラマを探るプロジェクト (武蔵大 LASEC) 遠藤瑞己

化学の教科書に掲載されている概念, 用語, 反応などには由来の不明なものが多い。これらの歴史的背景は学生の興味関心を引

き, 科学リテラシー教育にも有用だと考えられるが, その調査は独力では困難である。そこで本講演では, 教科書に隠れた歴史を探る国内外のプロジェクトを, 講演者自身の取り組みも合わせて紹介する。

講演 2. 化学と歴史を愉しむ (トクヤマ元会長) 楠 正夫

明治以降の富国強兵政策の下で, 日本の化学技術および化学産業はいかに形成されていったか, その源流はどこにあるのか興味深いところ。化学会社に所属する企業人として, 近代化に貢献した化学者および産業人にフォーカスし, 現地訪問歴史旅の中から, 写真を通して皆さんと化学と産業の歴史を愉しみたいと思います。

参加費 無料

参加申込方法 Web 下記学会 HP の申込みフォームから。会の詳細も下記 HP に掲載。講演会資料代 1,000 円 (会場にて販売)。

※参加登録者で冊子資料代 1,000 円 + 発送手数料 300 円を振り込んだ方には, 冊子資料を郵送します。ご希望の方は, 送付先を明記の上 8 月 5 日 (火) までに郵便局の振替用紙で次の口座へ 1,300 円送金して下さい。振替口座: 00180-0-175468 加入者名: 化学史学会

申込先 化学史学会事務局 詳細は HP (<https://kagakushi.org/>) 参照

問合先 514-8507 津市栗真町屋町 1577 三重大学全学共通教育センター 和田正法研究室 化学史学会事務局 電話 (059) 231-9930 FAX (059) 231-9353 E-mail: office@kagakushi.org <https://kagakushi.org/form>

第 136 回触媒討論会

主 催 触媒学会

共 催 日本化学会

会 期 9 月 17 日 (水)~19 日 (金)

開催方式 対面式

会 場 東北大学 (仙台市青葉区荒巻青葉 6-3) [交通] 仙台市地下鉄東西線「青葉山」駅直結

参加申込締切 下記触媒学会 HP にてご案内
発表申込締切 5 月 9 日 (金)

予稿原稿締切 7 月 31 日 (木)

第 136 回触媒討論会では, 特別講演, 表彰受賞講演, 依頼講演, 口頭発表 (A1 講演, A2 講演), ポスター発表を会期中に 8 会場の予定で開催いたします。また学生会員の A2 講演者を対象とした学生口頭発表賞, 学生会員のポスター発表者を対象とした学生ポスター発表賞を設定します。口頭発表およびポスター発表を広く募集しますので, 下記の申込み方法に従いお申し込み下さい。なお, 本討論会では討論会 A のみの開催となります。

口頭発表: A1 講演 (発表 10 分, 討論 5 分), A2 講演 (発表 15 分, 討論 15 分)

ポスター発表: 2 時間以上 (ポスター発表を別日に設定する可能性があります)

参加費 下記触媒学会 HP にてご案内

参加申込方法 Web

申込先・問合先 101-0062 千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 3 階 一般社団法人触媒学会 電話 (03) 3291-8224 FAX (03) 3291-8225 E-mail: catsj@pb3.so-net.ne.jp <https://catsj.jp/catsj-meeting>